

豊中市立野畑小学校「学校だより」

野畑花だより NO.4



学校教育目標「自ら考え、心豊かに たくましく生きる 子どもの育成」

めざす学校像

「互いに認め合い、高め合う」いきいきと子どもが活躍できる学校
「一人ひとりを大切に、違いは宝物」誰にとっても安心・安全な学校
「学校・家庭・地域をひとつに」つながりあうことを大切にする学校



令和5年(2023年)6月26日発行・野畑花だよりは、野畑小学校のホームページでもご覧いただけます。<http://www.toyonaka-osa.ed.jp/cms/nobatake/>

⑨ほたけしょうがっこうの子

⑩のびのびとすなおで元気

⑪バランスのとれた心と体

⑫たすけあう仲間

⑬けいぞくしてがんばる力

6月28日(水)は、野畑小学校の50回目の

創立記念日

で学校はお休みです。

学校の授業はお休みになりますが、放課後こどもクラブ(なかよし学級)は、

1日開設します。

野畑小学校のうつかわり(20周年記念誌より抜粋)

千里川をはさんで、河岸段丘の地形をもつ、旧野畑の地、雑木林、竹藪の緑の点在する住宅地、この雑木林の一部を切り開いて、昭和49年4月、豊中市で32番目の新設校「豊中市立野畑小学校」として誕生した。校区は、永楽荘全域、春日町3丁目～5丁目、向丘、北緑丘の校区になり、殆ど大阪市内へ勤務するサラリーマンの家庭である。この地区は元桜井谷小学校区であったが、児童の増加により分割された。

初代校として奥井正光氏が就任、教職員男子8名、女子15名、計23名で発足した。初年度は、5年生以下550名15学級、養護1学級の計16学級編成で、普通教室21ある南校舎、特別教室6ある北校舎、体育館、プールを完備し、昭和49年度の全教育活動が開始された。その後昭和53年4月1日、北緑丘小学校、桜井谷東小学校新設のため、北緑丘地区は北緑丘小学校へ、向丘1丁目は桜井谷東小学校へ校区変更となり、5年生以下の該当児童は転出した。

平成12年、コンピュータ室ができて、情報教育が始まった。年々竹藪や畑などが住宅地になり、児童数が増加し続け創立30周年の年は児童数が830人を超えた。



ノバード総選挙

全児童に描いてもらった「ノバード」のゆるキャラをクラスで一点推薦してもらい、今職員室前に各クラスの代表22点が張り出されて、全員での投票を行っています。



これは、50周年記念の実行委員で何か記念に残るものをと計画されたものです。

これから野畑小学校のゆるキャラとして残っていくものです。6月末で投票が締め切られて、獲得数の多いものが採用されます。さて、どのゆるキャラが選ばれるでしょうか？

6年生 修学旅行

これまでに6年生は全校児童に向けて、平和の思いを込めて折りづるを折ってもらうようお願いしたり、自分たちがどんな思いで広島に行くのか(平和を考える会で)を発表したりしてきました。

修学旅行を通して自分にとって平和とは何かを学ぶことを自覚し、広島に行ってきました。今年は広島では雨が降って予定を変更したりしましたが、予定していたことはすべて実施できました。自分たちで決めた目標を守り、周りを意識して行動することができました。宿舎については友達とお風呂に入る、一緒に寝る、お土産を買うという貴重な体験をして、2日目の姫路セントラルパークでは開園後すぐにパーク内のアトラクションに乗り、ジェットコースターに5回以上乗ったグループもありました。二日間心に残る楽しい修学旅行になりました。

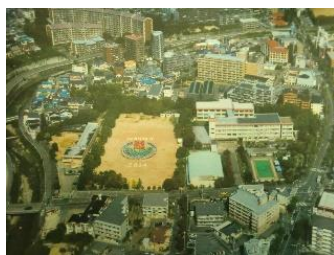
今年度から学年全員で入るいつものプール指導になりました。昨年より少し寒いプール開きでした。



開校当時の写真



1980年
南館東側4教室増築



40周年記念写真